

(80)

雑

報

benzidine で紅色を呈しないものであり, chlorogeni 酸系のものもホップ型のは少なく 5:7 dihydroxy flavanol 誘導体のものが主体と考えらる. その外呈色反応の差異より未決定のものもある. (寺本)

麥酒酵母並びに麥芽部のケト酸の検索

KNORR, F.: Branwiss. 9, 286 (1956)

プロピオン酸:水:n-ブタノール (5:7:10) の溶剤を

用い 0.05% o-phenylendiamin の 10% 三醋酸水液にて発色せしめる paperchromatograph によりケト酸の検索を行つた. 下面ビール酵母では α -ケト・アデビン酸, オキシ・ピルビン酸, γ -オキシ- α -ケト酪酸 γ -オキシ α -ケト・グルタル酸を検出 γ -オキシ- α -ケト・ピメリン酸は確認し得ない.

麥芽部ではオキシピルビン酸, β -オキシ- α -ケト酪酸, γ -オキシ- α , ケト・酪酸を確認した, (寺本)

雑 報

醸酵学懇話会

1月18日午後4時半より阪大工学部坪井記念館で首題の例会兼新年宴会を開き出席者70数名の多数で盛会であつた.

講演 今年の酒造について 大阪国税局武藤始太郎講演を終つて(株)寿屋の本多久吉氏の好意に依り, カクテルパーティーを催し更に福引の景品をつける等和气霽々たるものがあつた.

阿部重雄氏学位を授与さる

協和醸酵工業株式会社技師阿部重雄氏は予て東京大学農学部にて学位請求論文を提出中の処12月20日附を以て農学博士の学位記を授与さる. 提出論文は

主論文 ペニシリウム属の分類に関する研究

参考論文 1. Polymyxin に関する研究

(第1報) 培養条件について

(第2報) 分離精製並びに重層法による

力価検定法

1. ペニシリン生産菌の変異に関する研究

(第10報) 処理による人工突然変異について

1. 高単位ペニシリン生産菌株に関する研究

(第4報) 新分離菌株に関する研究

因に同氏は昭和17年阪大工学部醸酵工学科を卒業の上八州化学(株)に勤務, 更に東大農学部坂口研究室に研鑽され1昨々年現職に就かれたもの.

異 動

高木 嘉昌氏 東京都杉並区馬橋4ノ489 田口方へ転居

春日 仁氏 姫路市岩端町101 池田清方へ転居
武田 六郎氏 神戸市東灘区御影町城ノ前1447ノ6へ移転

工藤 仁助氏 長野県小県郡丸子町上丸子 升屋酒造場に転勤

杉田 茂氏 山口県防府市三田尻1835 協和醸酵防府工場へ転勤

郡家 徳郎氏 横浜市神奈川区新子守183 日糖アパート26号室に移転

小出 昭悟氏 長野県更級郡川中島町南原へ移転

福井 三郎氏 明石市林住宅公団アパート7ノ208に移転

斉藤 良一氏 明治乳業KK大阪製薬工場長同氏は本社技術部顧問に転任

高野 徹氏 明治乳業KK大阪製薬工場長に就任

八杉 茂夫氏 群馬県新田郡新田町宝酒造木崎工場へ転勤

松本 弘氏 茨木市奈良万両酒造KKへ就職

訃 報

松尾 操氏 本会理事, 大阪工業倶楽部専務理事,

同氏は1月11日出勤の途次梅田新道附近の歩道に倒れ中央病院に治療手当を施したるも遂に不帰13日午前5時逝去さる.

謹みて敬弔の意を表す.

氏は昭和8年大阪帝国大学工学部醸造学科を卒業し戦時中は重工業方面に活動されしも昭和26年より現職に就かれしもの, 多難な倶楽部も漸く軌道に乗つた際逝去されたので各方面より惜しまる.